

(別紙4(2))

事業所名 サポートハウス東名ながくて

目標達成計画

作成日：平成 24年 2月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 5 20	運営推進会議でのつながりは深まりつつあるが、地域の住民としての根ざすことが出来るよう、利用者含め職員とともに、結びつきを得られる様に考える。	地域住民の一人として生活をし、共通の意識を持つことができる様、施設内の取り組みや地域の状況、様子等の交流の場を活用しながら関わられるように取り組む。	新店舗や地域の変化に合わせ、行事等含め外出や挨拶等から関わりが広がる様に買物等機会をつくり出していく。	12ヶ月
2	6 7 21	画一的な言葉がけや対応とならない様、個々の生活リズムを把握し受け止めたうえでの的確な言葉がけや対応が個々にあることの認識を現状より深めていく。	個々に応じた言葉がけや対応方法を変える。対応、関わる様子、状況が利用者全体の支援に関わる。	個別の対応方法で周囲の利用者の受け止め方、感じ方、影響はどうか常に意識する。職員意識を統一するとともに、互いに感じ方を打ち合わせを通して省みられる場で意識を高める。統一連携をはかる。	12ヶ月
3	12 13	職員個々に応じ、仕事の捉え方、利用者との関係性を含め、力量を含めたうえで職員関係を考えての指導を日常的に行う。	職員個別にとらえ、対利用者、対職員の間関係を理解・把握する。	日々の打ち合わせを活用し、職員間を理解・意識し、互いに出来ない部分を職員全体で教え合っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

